

## 第5章 将来の主要な基礎フレーム

国富町の将来像を描くにあたって、基礎となる人口や経済の指標についての見直しを行います。

### 第1節 人口フレーム

人口や年齢区分別人口、世帯数は、すべての計画の指標となる重要な要素となります。これまでの推移や社会経済情勢のもとに、将来における望ましい規模の見直しを行います。

年	1 人口の見直し	2 世帯数の見直し	3 年齢区分別人口の見直し		
	人口		年少人口	生産年齢人口	老年人口
平成 17 年	21,692人	7,831戸 (2.77人)	3,001人	13,361人	5,330人
平成 22 年	20,909人	7,746戸 (2.70人)	2,646人	12,480人	5,783人
平成 27 年	20,000人	7,700戸 (2.60人)	2,400人	11,200人	6,400人
平成 32 年	19,000人	7,600戸 (2.50人)	2,200人	9,800人	7,000人
備考		( )は1戸あたりの世帯員数	0歳～14歳	15歳～64歳	65歳以上

### 第2節 経済フレーム

経済活動は、町民生活を支える基盤であり、まちづくりを推進するうえで重要な要素となります。国富町がめざす将来像や社会経済情勢のもとに、経済指標についての見直しを行います。

#### 1 就業者数の見直し

(単位：人)

年	第一次産業	第二次産業	第三次産業	計
平成 12 年	2,621	3,156	5,588	11,365
平成 17 年	2,549	2,776	5,997	11,322
平成 27 年	2,000	2,500	6,000	10,500
平成 32 年	1,500	2,500	6,000	10,000

#### 2 農業粗生産額の見直し

年	農業粗生産額
平成 17 年	100億円
平成 18 年	99億円
平成 27 年	100億円
平成 32 年	100億円

#### 3 商品販売額の見直し

年	商品販売額
平成 16 年	189億円
平成 19 年	195億円
平成 27 年	200億円
平成 32 年	200億円

#### 4 製造品出荷額の見直し

年	製造品出荷額
平成 17 年	930億円
平成 21 年	268億円
平成 27 年	2,000億円
平成 32 年	2,000億円